

丹波篠山市 市民アンケート調査結果の抜粋・速報

1. 調査の概要

〔1〕調査概要

■ 調査目的

丹波篠山市では、平成25年度（2013年度）から「第2次総合計画」を策定し、将来像「人・自然・文化が織りなす食と農の都」の実現に向けて、総合的かつ計画的な行財政運営を進めています。

市民の現在の生活環境や将来に向けたまちづくりについてのご意見をお聞きし、今後の施策展開に生かしていくとともに、新たな総合計画の策定等にあたっての重要な基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施しました。

■ 調査対象

市内にお住まいの18歳以上の男女2,000人（無作為抽出）

■ 調査方法

郵送配布－郵送回収

■ 調査期間

令和元年（2019年）9月13日（金）～令和元年（2019年）9月30日（月）

■ 回収状況

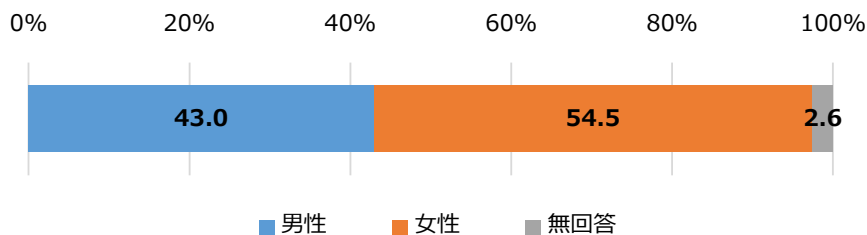
配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
2,000	824	41.2%	817	40.9%

※回収数のうち、白票については無効票として有効回収数には含まない

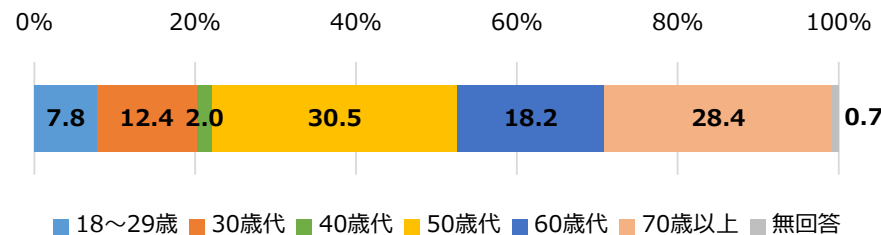
2. 結果の概要

〔1〕回答者の属性

性別

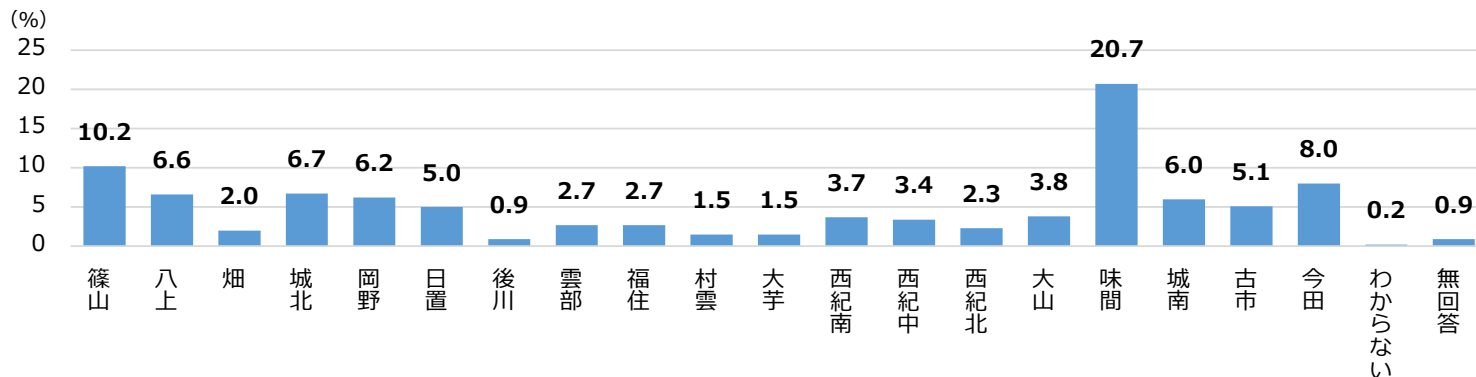


年代



- ・性別は「男性」が約4割、「女性」が約半数。
- ・年代は「50歳代」が最も多く、次いで「70歳代」「60歳代」と、50歳以上が8割近くを占める。

居住地

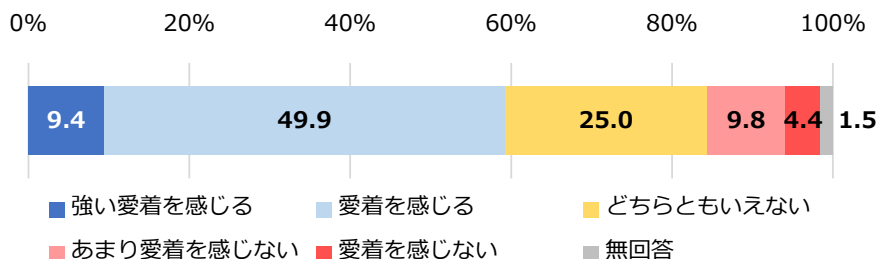


- ・居住地は「味間」が最も多く、次いで「篠山」「今田」「城北」「八上」の順と続く。

2. 結果の概要

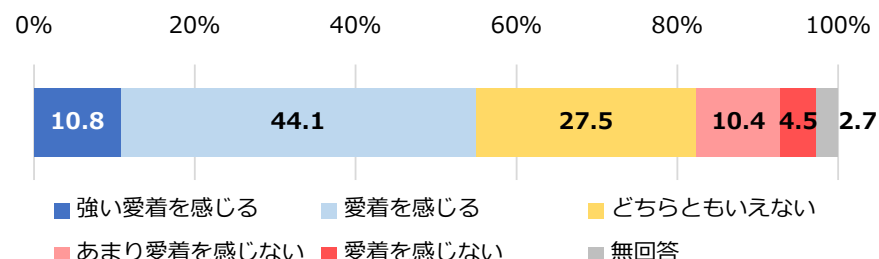
〔2〕丹波篠山市への愛着・住みやすさへの評価

■ 丹波篠山市への愛着



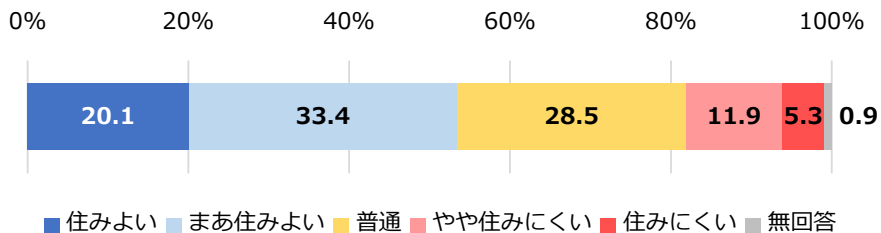
- ・丹波篠山市への愛着では、『愛着を感じる』（「強い愛着を感じる」+「愛着を感じる」）が約6割。
- ・一方で、『愛着を感じない』（「あまり愛着を感じない」+「愛着を感じない」）が1割以上。

■ 自分の住む地区への愛着



- ・自分の住んでいる地区への愛着では、『愛着を感じる』が半数以上、『愛着を感じない』が1割以上。
- ・市への愛着度と比べると、やや愛着は少ない結果となっている。

■ 丹波篠山市の住みやすさ

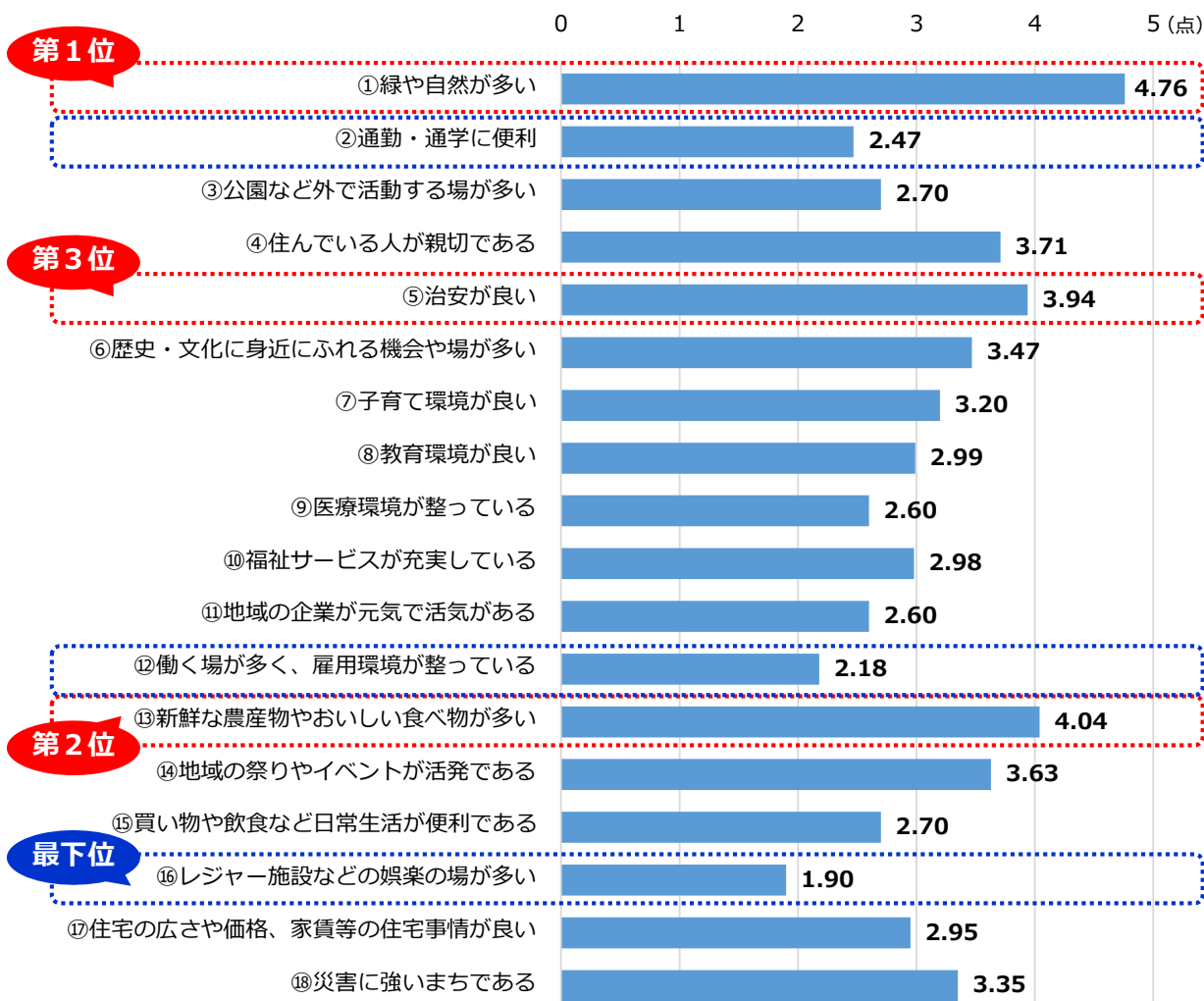


- ・丹波篠山市の住みやすさについては、『住みよい』（「住みよい」+「まあ住みよい」）が5割以上。
- ・一方で、『住みにくい』（「やや住みにくい」+「住みにくい」）が2割近く。

2. 結果の概要

[3] 丹波篠山市の特徴

■ 丹波篠山市の特徴



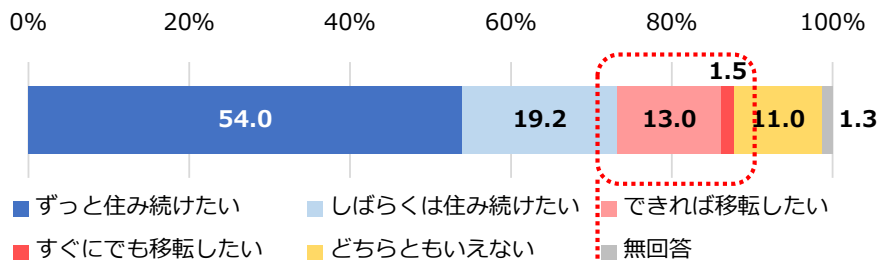
下記の通り点数を付けて平均点を算出
そう思う：5点
どちらかといえばそう思う：4点
どちらともいえない：3点
どちらかといえばそう思わない：2点
そう思わない：1点

- ・丹波篠山市の特徴では、「緑や自然が多い」が最も高く、次いで「新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い」、「治安が良い」と続いている。
- ・一方で、「レジャー施設などの娯楽の場」が最も低く、次いで「働く場、雇用環境」、「通勤・通学に便利」などで低い結果となっている。

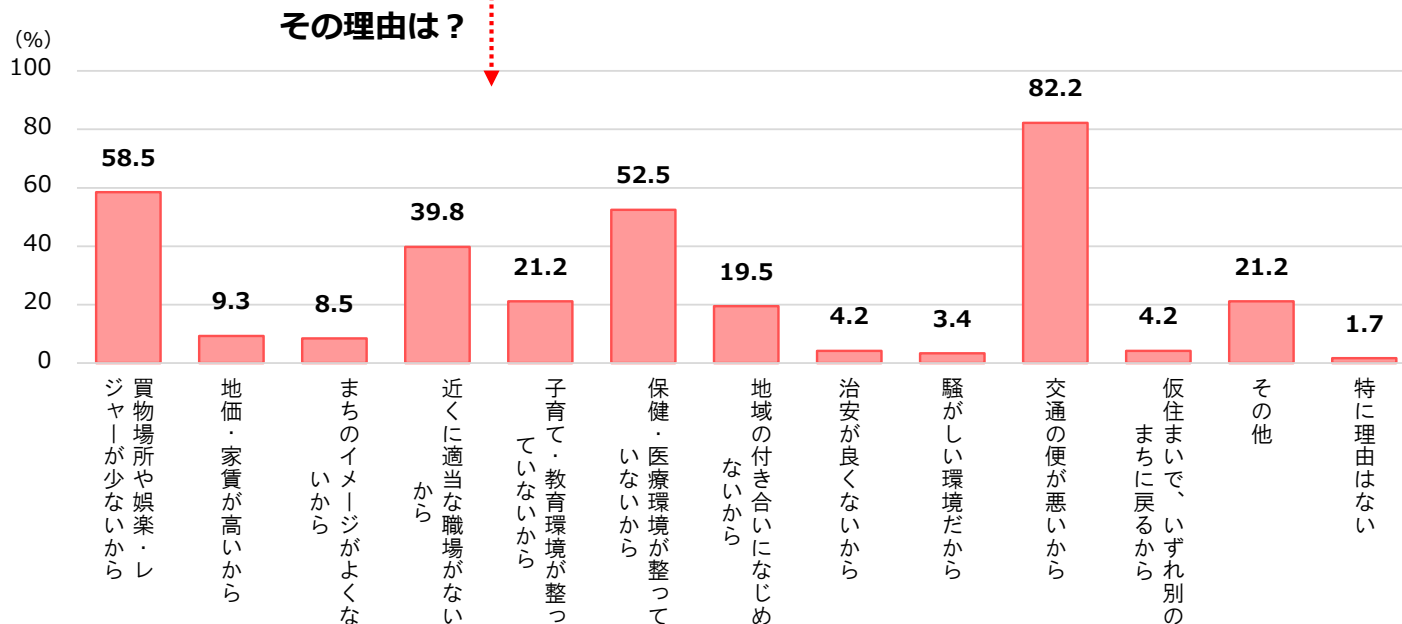
2. 結果の概要

[4] 今後の丹波篠山市での居留意向

■ 今後の丹波篠山市での居留意向



- ・今後の市での居留意向では、『住みたい』(「ずっと住みたい」+「しばらくは住みたい」)が7割以上。
- ・一方で、『移転したい』(「できれば移転したい」+「すぐにでも移転したい」)が1割以上。

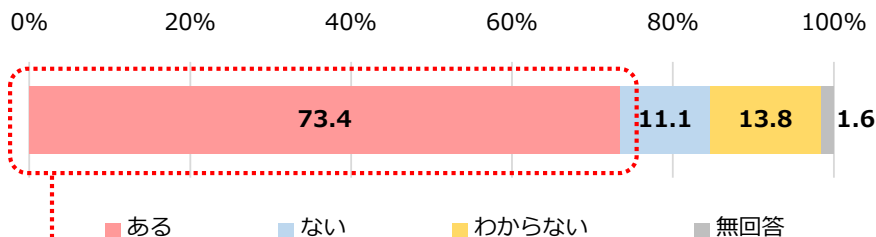


- ・丹波篠山市から移転したいと回答した人の理由では、「交通の便が悪いから」が最も高く、次いで「買物場所や娯楽・レジャーが少ないから」、「保健・医療環境が整っていないから」、「近くに適切な職場がないから」の順で続いている。

2. 結果の概要

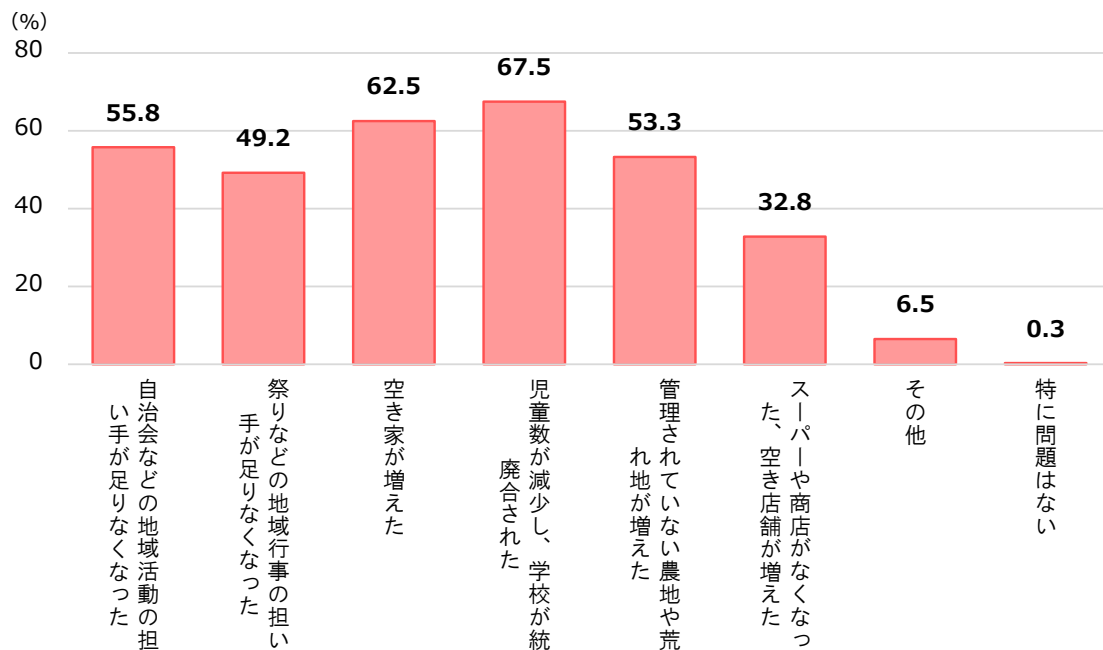
〔5〕人口減少の状況

■ 人口減少を実感することの有無



・ 日常生活で人口が減っていると実感することについては、「ある」が7割を超える。

具体的にどのような問題が発生してる？

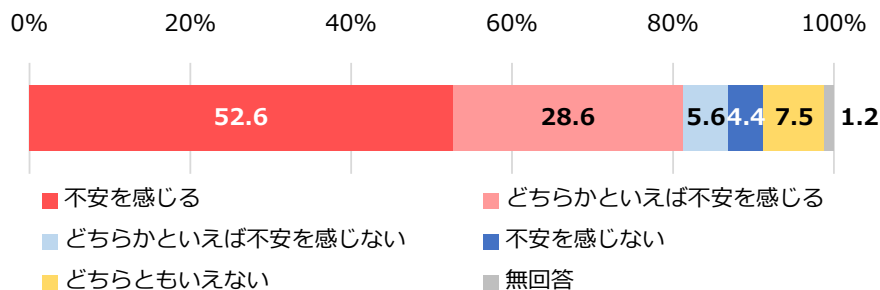


・ 人口が減ったことで発生している問題では、「児童数が減少し、学校が統合された」が7割近くを占めて最も高く、次いで「空き家が増えた」、「自治会などの地域活動の担い手が足りなくなった」、「管理されていない農地や荒地が増えた」の順となっている。

2. 結果の概要

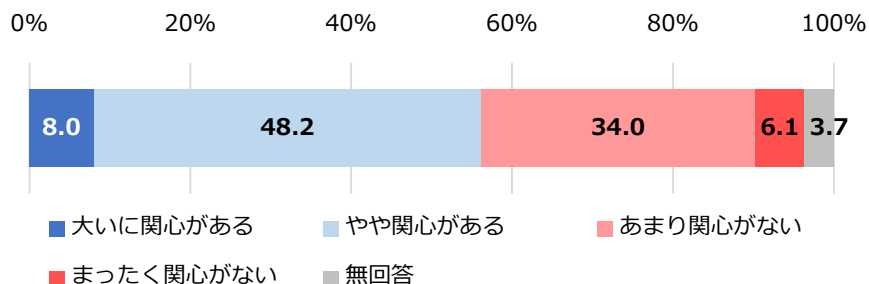
〔6〕今後のまちづくりへの参加意向

■ 人口減少が進んだ場合に将来に不安を感じるか



- ・人口減少が進んだ場合の将来への不安については、『不安を感じる』（「不安を感じる」＋「どちらかといえば不安を感じる」）が8割以上。

■ 市民参加のまちづくり活動への関心度



- ・市民参加のまちづくり活動への関心については、『関心がある』（「大に関心がある」＋「やや関心がある」）が半数以上となっているものの、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）が約4割を占める。